



# みんなの笑顔 おばこから

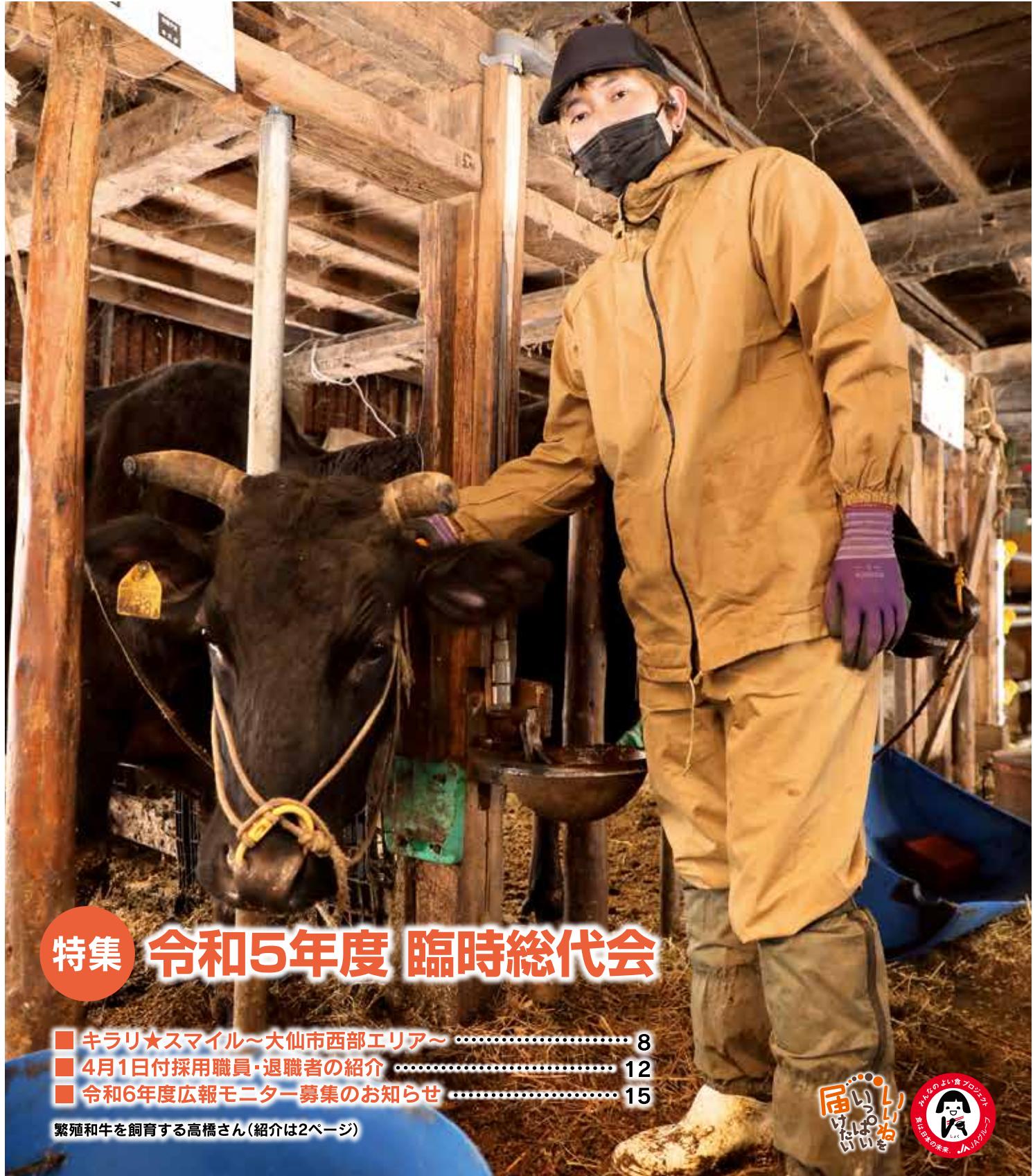
# bako

4

2024年 vol.313

令和6年4月

JA秋田おばこ



# 一笑懸命

いつ しよう けん めい

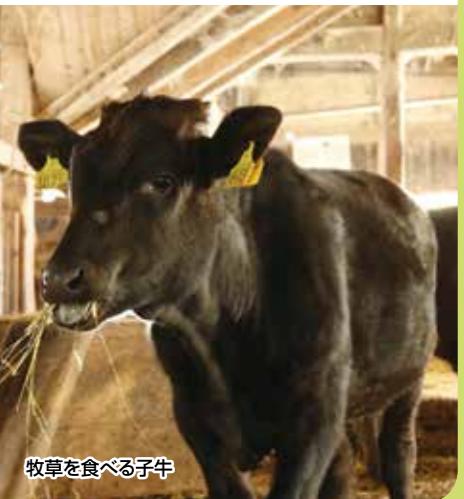
## プロフィール

令和5年4月に就農した畜産農家。現在は親牛20頭、子牛10頭の和牛を飼育しており、管理作業の多くを一人でこなしています。

飼料価格の高騰と子牛価格の暴落です。子牛価格については、1頭60～70万円ほどで推移していた価格が一時30万円台にまで下落し、「こんなはずでは：」と頭を悩ませました。ほかにも、研修で習ったことを実践しようと試みましたが、なかなか思い通りにはいきませんでした。「設備や労働力が違うこともあり、『習う』と『やる』では全然違いました。得た知識をどう活かすか、まだまだ手探り中ですね」と高橋さんは語ります。

そんな中でも、少しずつ牛の体調変化に気づけるようになってきたほか、種付けをすべて自分でできるようになりますなど、自身の成長を感じる機会も増えてきました。とりわけ餌の与え方については、思い切って父親のやり方を変えてみたところ、成果が出始めています。以前はとうもろこしや大豆などを配合した濃厚飼料を制限なく与えていましたが、先に牧草を与えてから決まった量の濃厚飼料を与えるようにしました。また、これまで大豆などを配合した濃厚飼料を与えるようにしました。また、これまで親牛にも栄養価の高い仔牛用の餌を与えていましたが、今は妊娠中。授乳中のみに制限するなど、牛の生育段階に合わせて自分なりに工夫を凝らしています。これらの給餌方法は試行錯誤の段階ですが、周囲から肉付きが良くなっていると言われ、自信を持てるようになりました。

「畜産は大変な職業ですが、継いだからには続けていきたいです。子どもが大きくなつた時に、畜産を職業の選択肢のひとつとして残していられるよう頑張ります」と思いを語ってくれました。言葉は控えめながらも、仕事に取り組む姿勢、そして決断力と行動力に、今後の飛躍を感じさせてくれました。



## 会社員から畜産の道へ

父親の後を継ぎ、大仙市太田地区で畜産を営む高橋さん。以前は会社員として働いていましたが、後継者になることを熱望されていたことや、会社員として定年まで勤続することに不安を感じていた中、子どもが生

まれたこともあり一念発起。会社を退職し、2年間の農業研修で知識や技術を学び、昨年4月に経営を継承しました。

## 苦難を乗り越え自分の糧に

いざ畜産農家として一步を踏み出したものの、初めは苦労の連続でした。例えば子牛の管理。朝は元気良く走り回っていた牛が、夕方になるとぐつたりとしており、慌てて獣医を呼んだことがあります。またある時は、先輩農家が牛舎に来た際に、「この子、耳が少し下がつてない？」あまり調子が良くないかも知れないね」と牛のわずかな仕草から教えてくれたことがあります。経験の差を痛感したそうです。さらに、研修中の2年間で畜産をとりまく情勢も大きく変わっていました。特に苦しめたのが

## 特集

# 自己改革をすすめ 組合員の負託に応える

秋田泊はこ事業協同組合 臨時総代会

## ～令和5年度臨時総代会～



JJAは3月27日、令和5年度臨時総代会を大仙市の大曲市民会館で開きました。総代定数571人に対して、実出席者312人、書面出席者233人の合計545人が出席。令和6年度事業計画の設定など3議案を審議し、すべて賛成多数で可決されました。

## 令和5年度臨時総代会議案

**第1号議案** 令和6年度事業計画の設定について

**第2号議案** 令和6年度経費の賦課金額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法の決定について

**第3号議案** 令和6年度理事及び監事の報酬額の決定について

**附帯決議**

おばこのインフォメーション	16
みんなの広場	
JAからのお知らせ	13
4月1日付採用職員・退職者の紹介	12
おだより／クロスワードパズル／お知らせ	14
おたより／クロスワードパズル／お知らせ	
おたより／クロスワードパズル／お知らせ	

## おばこの広場

10

## まちかどNews

6

## ピックアップ

8

## キラリ☆スマイル

9

## ドクターの健康クリニック

9

## 一笑懸命

2

## 特集

3

## 令和5年度臨時総代会

2

## 自己改革をすすめ

3

## 組合員の

3

## 負託に応える

3

## もくじ

会の冒頭、齊藤武志組合長は、「令和5年度は、田安や不安定な世界情勢により、肥料・農薬の価格高騰による経済的ダメージを受け、米に関しても日照不足や大雨、猛暑の影響により品質低下を招くなど、厳しい農業情勢となりました。一方で、高温耐性をもつ「サキホコレ」は1等米比率が高く、今後の作付拡大が期待できる」とや、米の食味ランギングにおいて県南地区の「サキホコレ」と「あきたこまち」が「特A」の最高評価を得たこともあって、今後の稻作に弾みをつけた年となりました。このようなか、令和5年度の決算は、計画を上回る当期剰余金を見通せる状況にあります。これもひとえに、組合員の皆さまのご利用、ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます」とあいさつしました。

続けて、「令和6年度は、第9次中期3か年計画の最終年度にあたり、基本方針として、今後の稻作に弾みをつけた年となりました。このようなか、令和5年度の決算は、計画を上回る当期剰余金を見通せる状況にあります。これもひとえに、組合員の皆さまのご利用、ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます」とあいさつしました。

続く、「令和6年度は、第9次中期3か年計画の最終年度にあたり、基本方針として、今後の稻作に弾みをつけた年となりました。このようなか、令和5年度の決算は、計画を上回る当期剰余金を見通せる状況にあります。これもひとえに、組合員の皆さまのご利用、ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます」とあいさつしました。

▲あいさつする齊藤組合長



▲議事を進行する鈴木議長（左）と大島副議長

# 令和6年度事業計画 部門方針

## 宮農経済部門

当JAの主力たる米をめぐる環境は、主食用米及び加工用米などの適正生産をはじめとした生産調整への取り組みにより、全国的に適正在庫数量へ向かいつつあります。しかしながら、国民生活様態の変化による消費の減退、災害級ともいえる異常気象による高温障害、流通の多様化による集荷への影響など、依然として先行き不透明な状況にあります。

また、世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇、世界各地の地域紛争に加え、依然として続く田安の影響は生産資材等の価格高騰を招き、農家経営を圧迫しています。

そのような中、当JAは「秋田おばこ産」のブランドを前面に打ち出し、実需と結び付いた安定生産や、きめ細やかな営農指導による秀品率の向上、並びに園芸・畜産を併せた複合経営の推進やコスト低減方策を推すすめ、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目指します。

また、心豊かに安心して暮らせる地域社会の実現に向け、ぐらしの活動や食農教育への取り組みを継続するとともに、複合施設「じゅしゅ」JA合併協議から離脱し単独経営を選択しました。今後も改善・改革を続けながら経営の健全化・基盤強化に努め、組合員の期待と信頼に応えるために、役職員一丸となつて取り組んでまいります」と述べました。

議事進行に当たっては、議長に中仙地区総代の鈴木耕悦氏、副議長に仙南地区の大島勲氏を選任。提出された議案を審議し、すべて原案通りに可決されました。

## 金融部門

組合支店を各エリアの中心として、傘下にココロニティ（既金融化）支店を置く機構が確立しています。地域と組合員・地域利用者の利便性に配慮しつつ、JAの持続可能な収益構造をつくり上げてきます。

また、地域農業に密着した金融機関として、當農部門と連携して農業者等への適切な情報提供や対話を行います。JAとの信頼関係を構築し農業者等の所得向上に寄与できる情報提供や農業融資の積極的提案をします。

また、債権管理並びに保全に配慮するほか、不良債権比率の低下にも取り組み、金融事業の健全性確保を図ります。

多様化する社会における生活様式の変化に対応するため、通帳レース口座の導入、インターネットバンキングやWebを利用したローン申込等、24時間利用可能な非対面サービスの普及に取り組みます。

金融移動店舗車・年金宅配等高齢者向けサービスを継続し、組合員・地域利用者に生活メインバンクとして信頼される地域の金融機関を目指します。

また、「3Q活動を通じた保障点検」「はじまる活動」を通じた未加入組合員の加入促進による二ユーパートナーの獲得、「ひと保障」の医療共済を中心としたクロスセル（複数提案）の強化で、目指すべき長期共済保有高の確保及び持続可能な収益構造を構築します。

さらに、「デジタル技術を活用したJA共済アプリ、Webマイページ、Web証書、Web継続手続きを推すすめ、非対面サービスの充実を図るとともに、訪問による対面サービスを継続し、組合員・地域利用者の接点を強化して利便性の向上を図ります。

JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行いながら、自己改革の確実な断行と常に新しい取り組みを推進します。

また、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 共済部門

組合員・地域利用者一人ひとりに寄り添い生命と財産を守るために、「ひといえ・くるま・農業」の総合保障を通じて、一人ひとりのライフプランに沿った安心を生涯にわたり提供します。

また、「3Q活動を通じた保障点検」「はじまる活動」を通じた未加入組合員の加入促進による二ユーパートナーの獲得、「ひと保障」の医療共済を中心としたクロスセル（複数提案）の強化で、目指すべき長期共済保有高の確保及び持続可能な収益構造を構築します。

さらに、「デジタル技術を活用したJA共済アプリ、Webマイページ、Web証書、Web継続手続きを推すすめ、非対面サービスの充実を図るとともに、訪問による対面サービスを継続し、組合員・地域利用者との接点を強化して利便性の向上を図ります。

JAの事業活動を通じて農業・地域社会へのさらなる貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 総合企画・総務・監査部門

JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 2

### 基本方針

## 1

### 持続可能な農業の実現

## 3

### 目指す姿を実現する 強いJAづくり

# 令和6年度事業計画 農業・地域社会の持続力向上のための 組織・事業・経営改革

JJA秋田おばこは、使命である「農家所得の向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実現するため、組合員をはじめ地域の皆さまの目線に立った自己改革に取り組んでまいります。

また、役職員一体となり、意識改革及び内部管理態勢の強化に努め、誠心誠意、経営改善に取り組み、農業や地域を支える多様な関係者との連携を強化しながら、持続可能性を広げるために挑み続けてまいります。

JA秋田おばこは、使命である「農家所得の向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実現するため、組合員をはじめ地域の皆さまの目線に立った自己改革に取り組んでまいります。

組合員の組合への意思反映・運営参画意識を高め、信頼関係をより強固にするとともに、経営の健全性を確保するため内部統制機能及びリスク管理を強化してまいります。

また、計画の確実な実践による事業の伸長及び費用の削減を図り、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 2

### 安心して暮らせる 豊かな地域社会の実現

組合員・地域住民の幅広い世代を対象に、地域に密着した協同活動や、総合的な福祉活動の展開により、組合員・地域住民が安心して暮らせる地域づくりの取り組みをすすめています。

組合員の組合への意思反映・運営参画意識を高め、信頼関係をより強固にするとともに、経営の健全性を確保するため内部統制機能及びリスク管理を強化してまいります。

また、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 2

### 安心して暮らせる 豊かな地域社会の実現

組合員・地域住民の幅広い世代を対象に、地域に密着した協同活動や、総合的な福祉活動の展開により、組合員・地域住民が安心して暮らせる地域づくりの取り組みをすすめています。

組合員の組合への意思反映・運営参画意識を高め、信頼関係をより強固にするとともに、経営の健全性を確保するため内部統制機能及びリスク管理を強化してまいります。

また、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 2

### 安心して暮らせる 豊かな地域社会の実現

組合員・地域住民の幅広い世代を対象に、地域に密着した協同活動や、総合的な福祉活動の展開により、組合員・地域住民が安心して暮らせる地域づくりの取り組みをすすめています。

組合員の組合への意思反映・運営参画意識を高め、信頼関係をより強固にするとともに、経営の健全性を確保するため内部統制機能及びリスク管理を強化してまいります。

また、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 2

### 安心して暮らせる 豊かな地域社会の実現

組合員・地域住民の幅広い世代を対象に、地域に密着した協同活動や、総合的な福祉活動の展開により、組合員・地域住民が安心して暮らせる地域づくりの取り組みをすすめています。

組合員の組合への意思反映・運営参画意識を高め、信頼関係をより強固にするとともに、経営の健全性を確保するため内部統制機能及びリスク管理を強化してまいります。

また、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。

## 2

### 安心して暮らせる 豊かな地域社会の実現

組合員・地域住民の幅広い世代を対象に、地域に密着した協同活動や、総合的な福祉活動の展開により、組合員・地域住民が安心して暮らせる地域づくりの取り組みをすすめています。

組合員の組合への意思反映・運営参画意識を高め、信頼関係をより強固にするとともに、経営の健全性を確保するため内部統制機能及びリスク管理を強化してまいります。

また、JAの事業活動を通じて農業・地域社会への貢献に取り組み、農業・地域社会とより広く・より深く繋がる総合保障の取組強化を実践します。

また、JA全体の目指す方向性に向かうため、設定した目標・改革に対しても、他の部門との連携や情報を共有しながら、総合企画部門としての検証・分析をふまえ、利益確保に向けた経営管理を行います。

さらに、新しいアイデアやデジタル技術の導入・業務プロセスの改善を行なうとともに、環境や市場などの変化に対応するためにリスク管理を重視し、必要な柔軟性を確保しながら適切な対応策を定めて、内部統制の確立に努めます。

これらの方針を実現するために、ロードマップや系統組織の研修会、講習会を活用して部門内の人材育成を図っています。



▲最後にみんなで集合写真を撮りました

こども園  
おばこ発

成長した園児が次のステップへ  
閉園式・おおきくなったねの会

おばこども園は3月26日、閉園式とおおきくなったねの会を行いました。閉園式では、齊藤武志組合長が保護者に対し、これまでおばこども園を信頼し大切なお子さまを預けていただいたことに感謝の言葉を述べました。

また会では、園児たちが元気いっぱいに歌を歌ったり、お遊戯を披露し、会場は笑顔であふれました。先生からは、卒園証書の代わりに園児一人ひとりへプレゼントが手渡され、「新しい保育園でも、たくさんお友達をつくりいっぱい遊んでね」とエールが送されました。



▲会長特別賞を受賞した小松さん(中央)

女性部  
大仙市  
東部エリア発

小松さんの健闘を讃える  
第65回全国家の光大会  
結果報告

3月6日、第65回全国家の光大会で「家の光協会会長特別賞」を受賞した小松瑞穂さんが、結果報告のため来組しました。齊藤武志組合長は小松さんを出迎え、「地区、全県、全国大会と上にすすんでいくたびに素晴らしい発表になっていきました。今後もさらなる活躍を期待しています」とねぎらいの声をかけました。小松さんは、引き続き農業の魅力を発信しつつ、いつか夢である農家民宿の経営にチャレンジしたいと思いを語りました。



▲タオルを贈呈した女性部員と施設長(右から2番目)

女性部  
おばこ発

タオル1本・愛の30cm運動  
女性部がタオルを寄贈

女性部は3月14日、「タオル1本・愛の30cm運動」と題して行っているボランティア活動で、ショートステイやすらぎにタオルを寄贈しました。家庭で余っている新品のタオルや綿素材の服などを約30cm四方に切った布を集め、各地区的女性部代表者が同施設を訪問して箱いっぱいのタオルを手渡しました。タオルは施設内の清掃などに利用される予定で、施設長は「毎年たくさんのタオルをいただいて、大変助かっています」と感謝を伝えました。



▲切り花を手に取り眺める生産者

花き  
おばこ発

需要も加味して品種を選定  
アルストロメリア  
品種検討会

JJAは3月7日、大仙市でアルストロメリア品種検討会を開催しました。会はリモート形式で行われ、3種苗メーカーの担当者が新品種を含めた計40種類の品種を紹介。生産性の高さや栽培管理のしやすさなどの特徴を解説しました。また、市場の担当者が、消費者の需要や傾向を説明しながら、作付けを増やしてほしい色や品種の要望をしました。

参加者は時折質問も交えながら、どんな品種を導入するかを検討しました。

園芸  
おばこ発

心機一転!同志とともに高みを目指す  
青果物部会合同交流会

青果物振興連絡協議会は3月6日、合同交流会を大仙市で開催しました。生産者をはじめ、県、市町、主要な取引先などが出席。令和5年度は厳しい栽培環境が続きましたが、気持ちを新たに乗り切っていました。出席者全員で意思統一を図りました。

会では優秀生産者表彰を行い、トマト部会の梅川靖さん(仙南)がグランドチャンピオン賞、きゅうり部会の(農)中野園(千畑)が最優秀賞、そらまめ部会の高橋洋子さん(田沢湖)が奨励賞をそれぞれ受賞



▲表彰された方々(左から(農)中野園 深澤靖さん、梅川さん、齊藤組合長、高橋さん)



▲話を聞きながら資料に目を通す部会員

稲作  
おばこ発

昨年の天候から対策を考える  
サキホコレ栽培講習会

サキホコレ生産専門部会は3月21日、栽培講習会を大仙市で開催しました。JAの営農指導員が、育苗や本田準備、田植えなどのポイントを説明。登熟期間における高温や日照不足の影響を最小限に留めるために、徹底した水管理とケイ酸資材を用いた土づくりを推奨するなど、気象変動に対応した栽培管理を呼びかけました。

佐々木竜孝部会長は「県内一の『サキホコレ』の产地を目指し、皆で協力して頑張りましょう」と話しました。

し、齊藤武志組合長がチャンピオンカップや賞状を授与しました。

また、研修会では、秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科の吉田康徳教授が講師を務め、「スマート農業の現状と今後の展望について」というテーマで講演。吉田教授は施設栽培のトマトを例に、スマート農業の技術を栽培工程のどこに活かすのかといった話のほか、同大学で研究中の事例をわかりやすく紹介し、参加者は熱心に耳を傾けました。



▲スマート農業について講演する吉田教授



▲部会員の育苗ハウスで苗の生育を確認する参加者(大仙市)

そらまめ  
おばこ発

定植の準備を万全に  
そらまめ育苗・定植講習会

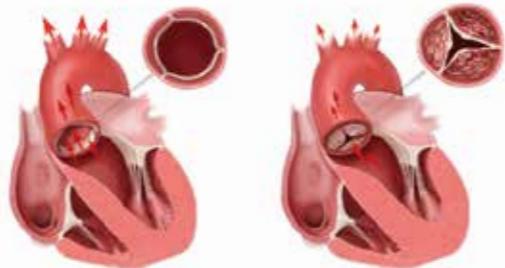
そらまめ部会は3月11日、育苗・定植講習会を大仙市と仙北市で開催しました。仙北地域振興局の担当者が講師を務め、育苗後半の管理とほ場づくりのポイントを説明。育苗ハウス内の気温が高くなると苗が軟弱になるほか、収量確保に向けて施した低温処理の効果が打ち消されるため、20℃以下で管理するよう注意喚起しました。

また、ほ場づくりについては、基肥に即効性肥料を使用することや、排水対策をしっかりと行い、定植に向けた準備をすすめるよう呼びかけました。

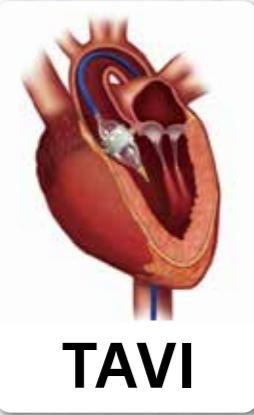
**大動脈弁狭窄症とは?**  
大動脈弁狭窄症は、大動脈弁が石灰化等により開きにくくなる疾患です。原因としてリウマチ熱、先天性異常、加齢による石灰化などがありますが、近年は加齢による石灰化が原因の多くを占めています。75歳以上の約8人に1人は大動脈弁狭窄症に罹患しているともいわれています。

心臓には右心房、右心室、左心房、左心室の4つの部屋があり、順番に血液が流れています。それぞれの部屋の間には「弁」がついており、血液の流れを一方向に維持し、逆流を防止する役割を果たしています。これらの中には「弁」がついておらず、血液の流れを一方的に維持する役割を果たせなくなつた状態を「心臓弁膜症」といいます。今回本題の役割を果たせなくなつた状態を「心臓弁膜症」といいます。これはその中で最も患者数の多い「大動脈弁狭窄症」について取り上げたいと思います。

### 大動脈弁(正常) 大動脈弁(狭窄)



**診断方法は?**  
スクリーニング検査として最も有効かつ簡便なのが聴診です。多くの方が健診で心雜音を指摘され発見に至っています。専門外来では心臓超音波検査を行い、弁膜症の鑑別および重症度の判定をします。



TAVI

**症状は?**  
軽症のうちはほとんど自覚症状がありませんが、進行すると息切れや動悸、胸痛などの症状が現れ、重症になると失神や突然死に至る可能性があります。比較的ゆっくりと進行することが多く、また高齢の患者さんは日常生活での活動を無意識に制限する傾向があります。

**治療は?**  
一度狭窄の進んだ弁は薬物治療ではもとに戻らないため、重症と診断された場合は手術治療により弁を取り換える必要があります。従来は開胸手術しか選択肢がありませんでしたが、近年では開胸せずカテーテルを用いて人工弁を留置する治療が行われるようになります。秋田でも2021年12月から大学病院でカテーテル治療(TAVI)を開始しています。大学病院は秋田県内全域から紹介を受けており、当院からも紹介させていただいている。

息切れや疲労感が強くなつたと感じている方、実は心臓弁膜症かもしれません。年のせいだと我慢せず、まずはお近くの病院で聴診だけでも受けてみてください。



## ドクターの健康クリニック その息切れ、心臓弁膜症かも?



大曲厚生医療センター  
循環器科 医長  
榆井 周作 先生

今月のドクター

## 夫婦 二人三脚



大仙市神宮寺  
齊藤 亘さん(58歳)  
るみさん(64歳)  
夫婦歴32年

お2人の出会いは…

私(亘さん)がバイクのツーリング中に、たまたま立ち寄ったお店で働いていたるみなさんを見て一目惚れしました。

夫婦になって一番の思い出は…

子どもたちの部活です。応援で色々な所へ行ったことや、親同士で仲良くなり盛り上がったのは素敵な思い出です。

二人三脚のヒケツは…

子どもたちが私たちを繋ぐ紐のような存在になっていたのかな。今も昔も変わらず夫婦で同じ方向を向いて歩んでこられたのが円満の秘訣です。

妻へ

お互い年を重ねてきたので、無理はせずに一緒に同じ歩幅で歩いていきましょう。

夫へ

お酒が好きなので、体を壊して私をひとりにしないでね。

## 我が家 ニューフェイス



大仙市  
神宮寺  
加賀屋 瑠伽ちゃん (0歳6か月)  
令和5年9月19日生まれ  
崇訓さん・奈保子さんの長女

性格は?

好奇心旺盛です。

お気に入りは?

YouTubeで子ども向けチャンネルの「シナぶしゅ」を観ることです。

チャームポイントは?

ぷくぶくのほっぺたと、うつ伏せになったときにおでこにシワが寄るところです。

名前の由来は?

9月の誕生石として知られる「瑠璃」の漢字を使いたかったことと、名前の響きを考えて名付けました。

いっぱい食べて大きくなってね!  
パパ・ママより

## イチ押し! カシタシレシピ

### 突きこんにゃくのたらこ和え



こんにゃくとたらこがよくからんで、優しい歯ごたえになります。ご飯のお供やお茶うけに最適です。

#### ◆材料(6人分)

・生たらこ	200g	A
・醤油	大さじ3	
・酒	大さじ1	
・塩	少々	
・突きこんにゃく	2袋	
・にんじん(千切り)	1/2本分	
・油揚げ(千切り)	2枚分	
・砂糖	大さじ1	B
・醤油	少々	
・塩	少々	

#### ◆つくり方

- タッパーにAを入れ一晩漬けておく。
- 鍋に湯を沸かして塩を入れ、突きこんにゃく、千切りにしたにんじん、油揚げを約1分茹でる。
- 茹で上がったらしっかり水気を切り、フライパンに移す。
- ③にBを加えて炒める。
- ④に①で漬けたたらこを入れて、軽く水分を飛ばす程度に炒めたら完成!





## 組合員の 皆さんへ

# JA購買店舗の取扱品目が変わりました

**金和6年4月1日(月)**から、下記のとおり購買店舗の機能再編を行いました。取扱品目・業務は次のとおりです。

品目・業務	エリア購買店舗 (大曲・西仙北・太田・田沢湖・千畠)	コミュニティ購買店舗 (協和・神岡・南外・仙北・中仙・角館・西木・畠屋・仙南・六郷)
肥料	○	○(主要品目)
農薬	○	○(主要品目)
毒物・劇物	○	×
包装資材	○	△(一部DB等を除く)
保温資材	○	×
種子・苗等	○	○
飼料	○	×
生活用品(食料品)	○	×
生活用品(衣料品等)	○	×
カタログ、通販対応	○	○
肥料農薬相談	○	○
補助事業等の相談	○	×
精算等の入金事務	○	○
宅配便の取り扱い	○	×
営業時間	8:30~17:00	8:30~17:00
土日祝営業	○(農繁期に限る)	×

※上記の×品目・業務については、エリア購買店舗にお問い合わせください。※ご注文いただいた商品は配送センターよりお届けいたします。  
※購買店舗の電話番号に変更はありません。

## 繁忙期に向けて

**購買品のご注文から配送までの  
ルールをお知らせします。**



受付時間 平日(月～金)	配送予定時間帯	備 考
<b>前 日</b> 午後3時までの ご注文受け付け	→ ご注文受付日 翌日のお昼まで	翌日配送を基本とします。 ※午後以降になる場合はご連絡いたします
<b>当 日</b> 午前10時までの ご注文受け付け	→ ご注文受付日 当日の夕方まで	翌日になる場合はご連絡いたします。 ※前日注文分を優先して配送するため、 翌日以降の配送となる場合がございます。

※急なご注文には、対応できない場合がございますのでご了承願います。

# エリア購買店舗

# 春の繁忙期 土日祝日営業のお知らせ (コミュニティ購買店舗は、営業いたしません)

令和6年度の購買店舗における繁忙期の土日祝日営業は、**エリア購買店舗で4月13日(土)から5月末まで**行います。  
**6月は土曜営業**となります。なお、土日祝日の営業時間は**8時30分～12時**です。

13日(土)から5月26日(日)までは  
リア購買店舗で土日祝日営業します。

エリア購買店舗  
大曲・西仙北・千畠  
太田・田沢湖

6月	1日 土	2日 日	8日 土	9日 日	15日 土	16日 日	22日 土	23日 日	29日 土	30日 日
	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×

月は  
エリア購買店舗で  
土曜営業します。

新採用職員

## 採用職員

退職



## 4月1日付採用職員の紹介

よろしくお願いいたします

退職

次の職員が3月31日をもちまして退職いたしました。



# 仙北支店移転のお知らせ

このたび仙北支店は、建物の老朽化等により移転させていただくことになりました。  
皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 現店舗

### 営業終了日

令和6年6月7日(金)  
午後3時まで

※ATMは引き続き  
ご利用いただけます。

## 新店舗(旧横堀支店)

### 営業開始日

令和6年6月10日(月)

大仙市福田字穴沢43  
TEL:0187-69-3111  
FAX:0187-69-3536

- 移転に伴う店名・店番・口座番号の変更はございません。これまでどおり、お手持ちの通帳・キャッシュカードはご利用いただけます。



## 農機センター

### 繁忙期営業のお知らせ

中央・北部の両農機センターは、4月20日(土)から5月26日(日)まで、土・日・祝日も含め8時30分から17時30分まで毎日営業いたします。ぜひご利用ください。

ただし、**5月5日(日)**は休業とさせていただきますので、あらかじめご了承いただきまますようお願いいたします。



#### お問い合わせ先

中央農機センター TEL:0187-88-8575  
北部農機センター TEL:0187-53-2714

## 理事会だより

### 第16回理事会

- 開催日 令和6年3月28日(木)  
議案 第1号 第26回通常総代会の開催日時・場所の決定  
第2号 令和6年度理事の報酬  
第3号 令和5年度第3四半期監事監査意見書に対する回答  
第4号 令和5年度決算方針及び連結決算方針  
第5号 子会社等の令和6年度事業計画  
第6号 令和6年度コンプライアンス活動計画

第7号 「内部統制システム基本方針」及び「基本方針に基づく具体的な取組事項」の取組み  
第8号 令和6年度内部監査計画  
第9号 令和6年度各種手数料  
第10号 大口資金の貸付  
第11号 令和6年度余裕金の運用方針  
第12号 規程等の廃止及び改正  
第13号 出資金の減口

## 監事會だより

- 第18回監事會  
開催日 令和6年3月15日(金)  
議案 第1号 令和5年度第4四半期監事監査意見書

第2号 令和5年度決算監事監査(外部確認)実施要領  
第3号 令和5年度決算監事監査(棚卸立会)実施要領

第19回監事會  
開催日 令和6年3月28日(木)  
議案 第1号 令和6年度監事報酬

## 4月の行事予定

- 16日 第26回JA秋田おばこ女性部通常総代会  
18日 コンプライアンス委員会  
26日 理事会、監事協議会、監事會

## 広報担当のつぶやき

このたび広報担当になりました(か)です。入組してからは、営農経済部門で園芸作物の販売などを10年間、総合企画部門でコンプライアンス関連業務を2年間担当しました。昔から作文が苦手で理系の道へすんだのですが、まさかここにきて文章を書くことになるとは…拙い文章が多くあるかもしれませんのが、温かく見守っていただけると幸いです。

さて、なんとか発行まで辿り着いた今月号。と言いつつ、半分くらいは前任の力を借りたので、達成感というよりは歴代担当者の偉大さを感じます。早く仕事に慣れて、独り立ちできるように頑張りたいと思います。(か)



※JA秋田おばこ概況(令和6年3月末)は、決算期につき掲載いたしませんので、ご了承願います。